

環境活動内容

温暖化防止活動

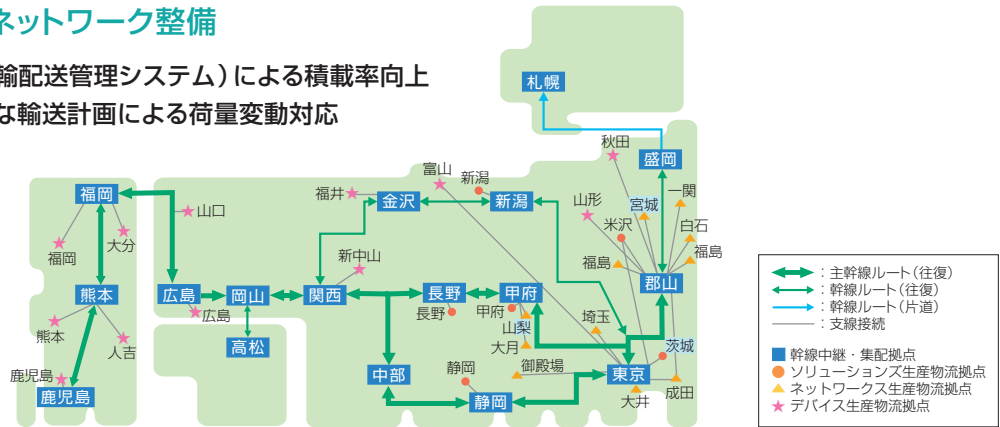
2005年に省エネルギー法が改正され、温暖化防止の抑制として運輸部門のエネルギー削減が輸送事業者に義務付けられました。

弊社は、従来から全国の輸送ネットワークの整備と情報システムの充実で輸配送の効率化につなげ輸送トラックの燃料削減等によりCO₂排出量の抑制に努めて来ましたが、輸配送の効率化は、調達物流である生産工場への資材供給、SCMによる生産革新でムダの排除によりお客様への部材・製品輸送をネットワーク便の活用拡大、積載率向上、共同輸送、モーダルシフト化推進等で効率化を図り配車便数、輸送距離の最適化でCO₂排出の抑制を図っています。

改正省エネルギー法で荷主のお客様と協力し輸送手段、方法並びに輸送量の把握と削減に向け、更に全社一体の取組を行っています。

輸配送ネットワーク整備

- ・ TMS（輸配送管理システム）による積載率向上
- ・ 効率的な輸送計画による荷量変動対応



低公害車導入と燃費改善

トラック輸配送を殆ど協力会社に委託していますが車輛の運行、運用管理の観点から車種別に最低限の車輛を保有しています。その車輛を使用して最適運転、安全運転並びに経済運転のノウハウを蓄積してトラック輸送方法の標準を取り決め、協力会社の運転指導で排出ガスの抑制に努めています。2005年に環境にやさしい最新型低燃費車を導入し成果を上げました。



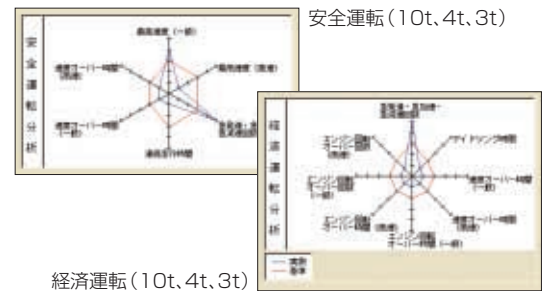
最新低燃費車導入(10t, 4t, 3t)

●低燃費車導入

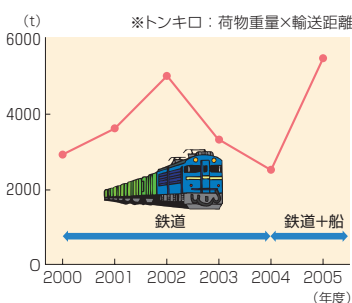
トラック車輛	台数	低燃費車
10t車	1台	超高压燃料噴射／尿素SCRシステムでPM、NOX削減、燃費向上
4t車	2台	排ガス再循環／DPFでPM、NOX削減、燃費向上
3t車	1台	ハイブリッドシステムで燃費向上

燃費: 12%向上 NOX: 半減 PM: 96%削減

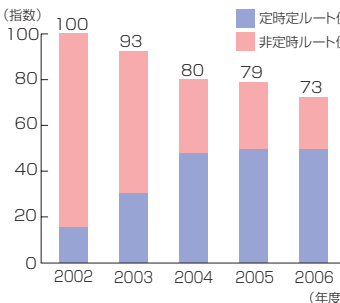
●デジタルタコメーター取付けで安全運転と燃費向上



モーダルシフト(トンキロ)の推移



運送トラックの台数推移



輸配送効率化によるCO₂削減

